

いくぶん、暑さが和らいでまいりましたが、今年の残暑は厳しいといった予想もあるようです。くれぐれも、体調管理に努めて下さい。

## 【今月のお願い】

### ～ 秋の交通安全運動の実施 ～

#### 1 運動期間

9月21日（日）～ 9月30日（火）の10日間

#### 2 運動の重点

- (1) 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- (2) ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- (3) 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進
- (4) バイクの交通事故防止
- (5) スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底

#### 3 交通事故防止のポイント

- (1) ドライバーの皆さんへ
  - 日没が早まり、通勤・通学や買物など、外出している時間帯が薄暮時間帯となる季節です。歩行者や自転車を見落としやすくなる夕暮れから夜間にかけての交通事故を防ぐため、「スピードダウン」と「安全確認」を徹底しましょう。
  - 横断歩道近くでは速度を落とし、横断しようとしている歩行者や自転車がまわりにいないかをよく確認し、横断歩道を横断する歩行者や自転車がいる場合は、必ず、横断歩道の手前で一時停止しましょう。
- (2) 歩行者の皆さんへ
  - 自分から車がみえていても、ドライバーからは歩いているあなたが見えていないかもしれません。ドライバーから早く見つけてもらえるように、外出する時には明るい色の服装や反射材を身に付けて、自分の存在を目立たせましょう。
  - 横断歩道を渡るときは、手をあげる等の合図をして、ドライバーに「道路を横断する意思」を伝えましょう。
- (3) 自転車利用者の皆さんへ
  - 見通しの悪い場所や一時停止の標識がある場所では、必ず止まって安全確認をしてから渡り始めましょう。
  - 自転車で転倒したときや交通事故があったとき、頭部の怪我は致命傷となります。自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう。

#### 【自転車安全利用五則】

- 1 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

～ 秋のヒグマによる人身被害の防止 ～  
(ヒグマとの事故を防ぐために)

1 複数で、音を使って入山を

野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。入山するときは、熊鈴やラジオ等を持って、会話しながら人の存在を知らせましょう。

2 情報収集を忘れない

薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビ等でヒグマの出没情報等を確認しましょう。

3 ゴミは放置しない

ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場等に繰り返し出没するようになりますので、ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

4 痕跡をみたら諦める

ヒグマの糞や足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけた時はすぐに引き返しましょう。

5 騒がない、興奮させない

万が一、ヒグマに遭遇した場合は、逃げたり、騒いだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険がありますので、リュックや持ち物に固執することなく、落ち着いて、ゆっくりと、静かに立ち去りましょう。

6 装備は万全に

野山に入る際は、万が一、ヒグマに遭遇した場合に備え、熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう。

令和7年9月  
手稲警察署長  
佐藤 厚